



<プロフィール>

近藤 静 (ピアノ)

6歳よりピアノを始め金澤奈津子、(故)金澤益孝の両氏に師事。大阪芸術大学にて(故)金澤益孝、田中伴子氏のもとで研鑽を積むが、3回生在学時に参加したイェルク・デームス氏の夏期講習会にてウィーン留学を勧められ、以後7年間ウィーンに留学。ウィーン市立音楽院在学中は、ゲルハルト・グレチュレーガー、オットー・ブロープストの各氏に師事。ウィーン市立音楽院ピアノ演奏科卒業。ディプロム取得。留学中ドイツにてクラウス・シルデ、ウィーンでルドルフ・ケーラーのマイスタークラスに参加し各地で演奏する。2003年滋賀県フィガロ・ホールにてリサイタル。2004年いずみホールにて関西フィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲「皇帝」を共演。2005年芦屋にてクラリネットの仲田真弓氏とデュオ・リサイタル。2006年4月大阪・フェニックスホールにてリサイタル。現在、滋賀県在住。後進の指導、室内楽、声楽の伴奏者として、また師デームス来日時には通訳者としても活動している。2005年秋より昴のピアノ担当。

檀 美知生 (テノール)

早稲田大学に入学と同時に、全国学生のうたごえの中心的存在であった早稲田大学合唱団に在籍、正指揮者として活躍する。また音楽センターアンサンブルにも所属し、トランペットを担当、故井上頼豊氏の指揮のもと中央合唱団の数多くのコンサート・レコーディングに参加する。卒業後、外資系コンピューター会社で金融機関担当のスペシャリストとして活躍、同時に合唱活動を再開し、妻由紀子とともに自ら主宰する合唱団TERRAを創立する。これまで19回の定期コンサート、コーラスミュージカル公演の指揮者、主役として活躍。神戸文化大ホール昼夜2回公演など毎回3000名以上の多くの観客を魅了している。阪神淡路大震災で練習場所の確保が困難になり、独自のレッスン場・ミニコンサート用のTERRAホールを建設し、活動の拠点とする。一昨年より音楽活動に専念し、男声合唱団「昴」にも参加、ボイストレーナー、指揮者も務める。一昨年8月には初のテノールリサイタル(兵庫県立芸術文化センター)を成功させ、ますます音楽家としての技量を高めている。海外公演にも積極的に同行、北海道合唱団主催による旧ソ連やバルト三国のラトビア公演に3回、昨年3月には紫金草合唱団の中国・南京公演に行き、ソリストとして好評を得る。指揮を関西指揮研究会、全国指揮者講習会などで外山雄三、守屋博之氏らに学ぶ。また大阪音大指揮者マスタークラス合唱指揮者コース修了。声楽を金光良美、檀上さわえ、柏原信江各氏に師事。

男声合唱団「昴」すばる

2000年春、うたごえの現役やOBたち20人で結成。現在40名の団員を擁し、大阪を中心に活発な演奏活動を展開している。日本のうたごえ祭典では毎年上位入賞を得ている。団長 藤後博巳 事務局長 立川孝信 指揮 本並美徳/伊藤 知/檀 美知生 ピアノ 近藤 静 ボイストレーナー 檀 美知生/富樫龍一。2007年ファーストコンサート 2008年セカンドコンサート 2002年日本のうたごえ福岡祭典で1位 2003年日本のうたごえ長野祭典で3位 2004年日本のうたごえ沖縄祭典で1位 2005年日本のうたごえ広島祭典で1位次席 2006年日本のうたごえ福井祭典2位次席 2006年10月佐渡公演。